

# 平成26年度 函館市地域包括支援センター事業評価

## 函館市地域包括支援センターこん

### 1. センターの概要(平成26年4月1日現在)

センター所在地	函館市時任町35番2号 こんクリニック時任内		担当圏域	中央部	
圏域の人口	52,858人	圏域の高齢者人口	16,986人	圏域の高齢化率	32.1%
職員数	保健師 2人, 社会福祉士 4人, 主任介護支援専門員 3人, その他 8人(配置基準職員 8人)				

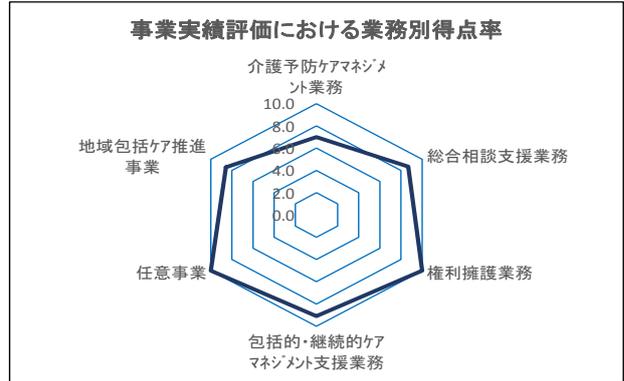
### 2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの職員は、担当以外の業務や事業についても理解している。しかし、実際の事業の実施においては主体となる職種以外の職員が積極的に関われなかったという反省点がある。</li> <li>入職して間もない職員は、自己評価が低い結果となっているが、センターとしては新人オリエンテーションの内容をあらかじめ定めているほか、入職後2~3年目の職員が指導を行うことにより、指導者自身も再度振り返りを行う機会を設けている。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>職員数が多いセンターであり、平成26年度は管理者の変更や職員の入れ替えもあったが、センター内部での教育体制を整備しており、支障なく各種事業を実施してきた。</li> <li>総合相談業務で、支援を拒否するケースへの継続的な働きかけについて、「あまりできなかった」と評価している職員がいるため、職員同士で相談できる体制の強化を行うなど、今後も各職員のスキルアップに努めていただきたい。</li> </ul>

### 3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
A	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ネットワーク構築のため、懇談会や町会行事へ参加し、関係機関との連携を強化している。とくに、民生委員との連携においては、定例会へ積極的に参加することで顔なじみの関係になり、支援が必要な高齢者の情報等を得やすくなったと感じている。</li> <li>介護支援専門員への支援では、圏域内の主任介護支援専門員と協働し事例検討会や懇談会を開催したり、研修の開催案内や施設の空き情報の提供を行っている。しかし、事例検討会や懇談会に参加する事業所が固定しており、今後は、より多くの事業所が参加できるように工夫する必要があると感じている。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>介護予防ケアマネジメント業務の情報共有シートの作成数については、過去の実績から計画数値を設定したが、二次予防事業の利用が本人の判断に委ねられており、センター独自での実績向上が難しい面があるため、得点が低いのはやむを得ない。</li> <li>地域の関係機関とのネットワーク構築について、丁寧かつきめ細かく関わりをもち、有機的なネットワークを構築していることは評価できる。</li> <li>様々な団体や関係機関を発掘し、出前講座等によるセンター業務や介護保険制度の普及啓発に努めていることは評価できる。</li> <li>事業の実施にあたり、様々な情報を収集し、独自の視点で事業を企画するとともに、地域の関係機関とも協働し、新たな社会資源の開発に取り組んでいることは評価できる。</li> </ul>

### 4. 運営体制評価

- 保健師が確保できず欠員となっていたが、他の職種を多く配置し業務をカバーする体制を整えており、事業の運営に支障はなかった。
- 職員が働きやすい環境を整えるなど、適正な業務管理が行われている。
- センター内での研修カリキュラムの整備や外部研修への積極的な参加を行っており、教育・研修体制を整備している。
- 携帯電話への転送による、夜間・休日等の迅速な連絡・対応体制を整備している。
- 苦情への対応については、マニュアルを作成し適切に対応している。
- 同一法人のサービス事業所の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い事業運営を行っている。

### 5. 総評

地域包括支援センターの運営法人として、期待以上の業務を実施していると評価する。常に各種制度や先進的な取り組みの情報を収集し、地域の関係機関と協働しながら事業展開を進めていることを評価する。職員の経験年数は様々だが、今後ともチームで対応することにより、より良い事業の実施に努めていただきたい。